



12月号担当 ひろちゃん

今月の特集

「伝えあう」は「わかりあう」への第一歩

福岡県内では大規模化の学童保育所が多く、日々の生活を安心・安全に過ごす事が精一杯、だからこそ子どもを真中に指導員と保護者の「伝えあう」ことや「わかりあう」事を考えていきましょう

- P10 共に考えあい、たしかめ
あえる学童保育を大切に
- P15 子どもと保護者の安心を育む
一助になることを願って
- P19 指導員のあたたかなまなざしを感じて
- P22 「おかえり」からはじまる安心の居場所
- P25 学童保育の生活を支える保護者と指導員
の伝えあい



講座 **子どもの発達・学力をめぐって**

不登校理解のあゆみ

馬場 久志

不登校になる前に、日々の保育生活での変化に気をつけながら、子どもの心や思いを一番に考え、学童保育での対応をどうすべきか検討し、保護者や学校との連携していくことで、少しでも子どもが前向きになれるのではないのでしょうか

今月号のおすすめ

P54 カナヘビクラブの子どもたち④

P61 交流し、学び、共によりよい学童保育を・・・と願って

P64 人々のはげましに支えられ、歩んできた日々をふり返って



「日本の学童はいく」誌は、日本中の選抜された保護者、指導員、学童保育研究者の方々との編集会議をもとに、学童保育に特化して構成して作られた唯一の月刊誌です。

福岡県連協は、この月刊誌をぜひ、たくさんの保護者、支援員、学童保育関係者の方々に読んでいただきたいと思います、見どころ【ひらいてみちゃりい】を配信することにしました。

毎月、担当を変えて、それぞれの視点から、見どころを紹介していきますので、是非、購読申し込みお待ちしております。

申込先：福岡県学童保育連絡協議会

TEL 093-662-6000 FAX 093-662-6006